

## 会 議 録

会議名称	令和7年度 第2回 越谷市障害者地域自立支援協議会全体会
日 時	令和8年2月9日（月） 14:00～15:00
会 場	越谷市役所本庁舎8階 第2委員会室
出席者	<p><b>【出席委員】</b> 小田原委員、齊間委員、倉野委員、中山委員、松浦委員、村澤委員、高橋委員、阿蔵委員、子松委員、愛甲委員、住田委員、金岡委員</p> <p><b>【欠席委員】</b> 木村委員、田沼委員、高島委員、桑原委員</p> <p><b>【事務局】</b> (障害福祉課) 山崎課長、斉藤調整幹、近藤調整幹、佐藤副課長、藤本主幹、河合主幹、対馬主幹、佐野主任、丸岡主任、石井主事 (子ども福祉課) 飯島主幹 (基幹相談支援センター) 高橋氏、川嶋氏、保田氏</p>
配付資料等	<p><b>【事前配付資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・資料1（専門部会等の活動について）</li> </ul> <p><b>【当日配付資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者名簿</li> <li>・事務局一覧</li> <li>・席次表</li> </ul>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 専門部会等の活動について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>4 閉会</li> </ol>
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 専門部会等の活動について 事務局及び以下の各専門部会長から、資料1に基づき活動報告を行った。                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局会議</li> <li>・日中サービス支援型グループホーム評価会</li> <li>・相談支援専門部会</li> <li>・障害者差別解消支援・障害者虐待対応専門部会</li> <li>・地域生活支援専門部会</li> <li>・精神保健福祉専門部会</li> <li>・障がい児専門部会</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>

《事務局会議》

【質問、意見等】なし

《日中サービス支援型グループホーム評価会》

【質問、意見等】

会 長：評価会における全体的な傾向について教えていただきたい。

事 務 局：利用者の受入れについては、本サービスが主旨とする高齢化・重度化する利用者を受入れていただいている事業所が増えている。また、事業所職員の質の問題について、どのサービスでも課題であると認識しているが、特に、本サービスでは高度な知識等が必要ということでご意見をいただくことが多かった。

《相談支援専門部会》

【質問、意見等】

会 長：相談支援事業所の会議への参加状況を教えていただきたい。

委 員：毎回2事業所程欠席している状況である。

会 長：市内相談支援事業所数の状況を教えていただきたい。

事 務 局：現在、障害福祉課が指定している相談支援事業所が19か所あるが、その内令和7年度に新規で指定した事業所はない。障がい児の相談支援事業所については、子ども施策推進課で指定を行っているが、令和7年度に新規で1事業所を指定している。障がい者・児を合わせた全体の数としては、障害福祉課と子ども施策推進課の両方から指定を受けている19か所に加え、障がい児のみを対象としている2か所を合わせた21か所となっている。

会 長：業務の軽減について協議されていたと思うがどうなっているか。

委 員：計画案を市に提出し、支給決定を受けたあと、決定した計画書を市に提出する習わしになっていたが、決定した計画書の提出が任意になった。実際には、利用者のご家族と会って話し合いを行うサービス担当者会議は、支給決定の前後で2回開催するため変わらないが、市に提出する回数が1回減ったということで若干の負担軽減となっている。

《障害者差別解消支援・障害者虐待対応専門部会》

【質問、意見等】

会 長：研修会の参加者数

事 務 局：参加事業所数は95か所、参加者は、当初は1事業所1人までとし、後に追加で参加者を募集した経過があるが、最終的に98人にご参加いただいた。

会 長：虐待に関連して、埼玉県のグループホーム職員研修会について、これまで中核市は対象外であったが、令和7年度からは、枠が空いていけば中核市でも参加できるようになった。しかし、結果的に、越谷市からの参加は3事業所だけであり、いずれもNPO、医療法人が運営する事業所で営利法人の参加はなかった。

また、法定研修であるサービス管理責任者の更新研修は、参加者の9割以上が営利法人である一方で、任意研修で、職員の質をあげる内容の研修であるサービス管理責任者の意思決定支援の専門研修については、参加者80人中営利法人からの参加は2人のみであり、法定研修のみ参加する営利法人が多い傾向にある中で、職員の質をあげていくにはどうしていけばよいか協議していく必要があると思っている。

(その他個別事案に係る箇所については非公開)

### 《地域生活支援専門部会》

【質問、意見等】なし

### 《精神保健福祉専門部会》

【質問、意見等】

委員：精神障害にも対応した地域包括ケアシステムいわゆる「にも包括」について、部会の中で各委員から情報共有がされ状況がわかってきたが、具体的にどのようににも包括につなげるのかイメージが難しかったが、先日の講師の講演を聞いてイメージができてきた。また、にも包括の構築にあたり、国のアドバイザーが活用できればよいと思った。

委員：にも包括の構築にあたり、まず、現状でできている部分と不足している部分を洗い出してから、部会の中で意見を共有していければ進めていけるのではないかと考えている。

委員：先日、講師の講演を聞いたが、未だににも包括は雲を掴むような話のように感じている。なにをやればよいのか、なにをやってはいけないのか、事例やサンプル等があればわかりやすいと思った。

### 《障がい児専門部会》

【質問、意見等】

委員：学校では、毎年クラス替えがあり複数年同じ教員が担任する生徒はほぼいないという状況の中で、小学部から長い方だと高等部まで、同じ職員の方に関わっていただける放課後等デイサービスの存在はとても大きく、保護者の信頼も厚い。進路指導についても助言をくださることもあり、今後一層放課後等デイサービスとの連携が必要となると思っているためよろしくお願ひしたい。

委員：本校には、医療的ケアが必要な方や家から出ること自体が難しい方、将来、一般就労や大学進学を見据えている方など状況は様々だが、切れ目のない支援が必要となる中で、学校だけでは対応しきれないことが多く、関係機関との連携を強化が必要であると思っているため、引続きよろしくお願ひしたい。

委員：教育センターでは就学前のこどもの就学先や小学校・中学校に在籍しているこどもの支援学級や支援学校についての相談などを受け付けている。保護者からの相談の中で感じるのは、支援学校や支援学級を選択した場合の将来の進路や就職について心配されている方が多いということである。そういった相談に対し適切な回答ができるように、教育関係者の理解を深めていく必要があるため、例えば、生まれてから就学、就職など各ライフステージに応じて受けることができる支援や選択できる支援などについてまとめた切れ目のない支援マップのようなものがあるとよいと思っている。

会長：障がい児専門部会の設置を検討されていた当初、将来的に医療的ケア児の分野を分けて活動して話があったと思うが状況はどうか。

事務局：現時点で、具体的には未定であるが、医療的ケア児への支援については課題として認識しており、引続き部会の編成等について検討していきたいと考えている。

**(2) その他**

事務局より来年度の開催予定について以下のとおり説明を行った。

- ・ 定例会は令和8年5月ごろと令和9年2月ごろの2回を開催予定
- ・ 来年度は、次期障がい福祉計画・障がい児福祉計画の策定年度であり、計画案について本会議よりご意見をいただきたいため、追加で夏ごろに1回開催予定

**3 閉会**